



「ゼロ水(危機的な渇水)」とは、水源が枯渇し、国民生活や社会経済活動に深刻かつ重大な支障が生じる状況と定義する(国土審議会水資源開発分科会調査企画部会)

第7回検討会での委員意見

○ゼロ水タイムラインの検討

意見

- ゼロ水タイムラインは非常に分かりやすく整理されている。対応策については現実的な対応となっているか引き続き精査すること。
- ゼロ水は非常に厳しい状況になるということをどうリスクマネジメントするかが重要である。
- 気候変動への適応策は、従来の水資源計画と独立して実施するのではなく、従来の水資源計画にその内容を取り込んだものとすべきである。



対応方針

- 対応策については現実的な対応となるよう整理し直しました。
- 危機時を想定した水需給者等の事前予防策、緊急対策を示すゼロ水タイムラインをモデル的に整理するとともに、今後、地方自治体等がゼロ水タイムラインを策定するためのガイドラインを作成します。

第7回検討会での委員意見

○気候変動による水資源への影響検討

意見

○気候変動による水資源への影響検討について、一番厳しい状況で影響を評価しておけば、他のシナリオも概ね推計できるので、RCP8.5で影響評価をするのは妥当である。



対応方針

- ・ RCP8.5の9ケースを対象に、水資源への影響を検討します。

第7回検討会での委員意見

○その他

意見

○カリフォルニアでは渇水が進んでいる。組織的・制度的、ハード、ソフトでどのように対応しているのか知見を集め、我が国での検討に活かして欲しい。



対応方針

- ・ 現在、カリフォルニア州では、史上最大の渇水が進行しており、各機関がどのような対応をしているか、市民生活、社会経済活動への影響等についてリアルタイムで確認するため、現地調査を行いました。